

# 中日青葉学園 理念

## 和

人の輪を広げ、豊かな心を育て、  
未来に向けて子どもと共に歩み、  
地域福祉の向上に貢献します。

## 方針

- 1 家庭的なホーム生活を通じ、子どもたちの情緒の安定を図り、安全で安心できる生活を提供します。
- 2 スポーツ・文化活動を通じ、仲間との連帯感、心身の健康、豊かな心、忍耐力を育みます。
- 3 児童の権利擁護に努め、子どもたちの言葉に耳を傾け、社会的な責任と自分たちの権利、義務について共に考え、自立を支援します。
- 4 地域との交流を深め、地域の子育て支援・ボランティア支援の役割を担い、地域に開かれた参加型の施設を目指します。
- 5 外部の専門機関との連携を深め、子どもたちにとって、より良い支援を行います。
- 6 「子どもの最善の利益」を念頭に、職員の教育・研修を行い、自己研鑽に努めます。

## 学 園の理念と方針を創りました。

児童福祉施設の役割は、さまざまな理由で家庭での養育が困難な児童を一定の間、お預かりし、家庭や社会に復帰してもらうことです。格差社会など社会的背景を踏まえ養育困難の理由は複雑で深刻化しており、学園での児童の養育は学園だけではなく地域や関係機関との連携が必要です。学園として指導のあり方・目標については設立当初のものがありませんでしたが、このたび全職員から意見を求め取りまとめました。あおば館、わかば館で毎日の申し送り時に理念と方針を読み上げ、業務遂行にいかしています。

## 花いっぱいのお立ちの会



学園恒例の十九年度お立ちの会が三月六日、中学卒業式を終えた中学三年生十四人を対象に多目的ホールで開催されました。今回は日本フラワーデザイン協会愛知県支部(支部長・大脇典子さん)と名古屋花きさんの協力で、会場がたくさんのフラワールームで飾られ、花に包まれての素晴らしい会となりました。真実となりました。



百人が出席、松田学園長が一人ひとりに言葉を贈った後、中日新聞社会事業団事務局長・小川信俊さんが記念品を渡しました。

卒業生が一人ずつ学園での生活の思い出を振り返り、在園生がこれまでの感謝の気持ちをメッセージで伝え、「ベストフレンド」を歌ってはなむけとし、職員からは贈り物として寄せ書きを渡しました。式の後、玄関前で学園歌を合唱、職員が男子卒業生を胸上げしたり、記念撮影写真として新しい門出を祝いました。

今年には十四人全員が高校へ進学が決まり、うち六人は卒業を機に退園、八人は学園から高校へ通学しています。

会に先立ち、わかば館食堂での昼食会でスターバックス竹の山店からコーヒを差し入れていただきました。



